

事業所名

MM生活支援センター大垣

支援プログラム

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念		日本人と、日本で暮らし、多様な背景を持ち外国にルーツを持つお子様（障がいのあるお子様）の、日常生活における基本的動作及び知識技能の習得、それぞれの環境や進路にあった集団生活へ適応することができるよう、それぞれのルーツの国の文化や習慣にも配慮し、障がいのあるお子様等の身体及び精神の状況に適応的かつ効果的な指導及び支援を日本語と母語の二か国語で対応いたします。							
支援方針		5領域の視点からこどもの利用頻度や発達に応じて支援の方針を決め、その都度場面に合った言動に繋がるようサポートし、楽しく学校生活が送れるように支援します。また、必要に応じてお子様のニーズに合わせた個別支援にも日本語と母語の二か国語で対応いたします。							
営業時間		9時	分から	18時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	児童発達支援ガイドライン項目に沿ってお子様の心身共に健康状態を把握したうえで、必要となる生活面でのスキルの習得を目指します。「できたっ！」の経験を積み上げ、日常生活に必要な土台を形成します。保護者様や日本の保育・教育機関、外国人学校等、各種関係機関の先生や相談支援員と情報を共有してサポートします。							
	運動・感覚	児童発達支援ガイドライン項目に沿ってお子様の発育に合わせた身体の動きを把握したうえで、必要な感覚遊び(手先・足裏等の微細運動)から体幹のトレーニング(粗大運動)等の基本的動作への習得に繋がります。							
	認知・行動	児童発達支援ガイドライン項目に沿ってお子様の特性・特徴を理解したうえで、視覚・聴覚・触覚における認知機能の発達を促せるよう興味があるものを楽しく取り入れていきます。							
	言語 コミュニケーション	児童発達支援ガイドライン項目に沿ってお子様の発達段階に合わせた言語支援、コミュニケーションの基礎的能力である感情の表出方法、状況に応じたやりとりが出来るよう、日本とお子様のルーツの国の習慣の違いにも配慮し、日本語と母語の二か国語で教材等を取り入れながら、必要に応じて個別でもサポートします。							
	人間関係 社会性	児童発達支援ガイドライン項目に沿ってお子様の社会性の発達段階に合わせた遊び等を通して、ルール理解や場面に応じた言動につなげ、周囲の人との信頼関係の基盤を築き上げていく事で、安心・安全に住み慣れた地域で暮らすことができるようサポートしてまいります。							
家族支援		お子様や保護者・兄弟・姉妹等も含め、ご家族の気持ちや希望も汲み取った定期的な家族支援をします。			移行支援		支援が途切れないように、日本の保育・教育機関、外国人学校等、各種関係機関への引継ぎをサポートします。		
地域支援・地域連携		日本の保育・教育機関、外国人学校等各種関係機関や医療機関との連携をして情報を共有します。地域社会への参加をする機会をつくります。			職員の質の向上		医療機関や学校等地域関係者と誰もが連携できる専門性を持つためのスキルアップと異文化への理解と知識の習得。		
主な行事等		長期休み等：お子様やご家族のルーツとなる国の祝事や行事・フェスティバル等、異なる習慣を楽しむ機会や、その創作活動の場を提供いたします。 日本やお子様とご家族のルーツとなる国の食習慣にも配慮をした食育の機会を提供いたします。							